

# 女性部会「全国女性フォーラム北海道大会」&「管外研修会」



## 全国女性フォーラム北海道大会

… 当部会から三枝部会長、谷津副部会長、星名副部会長が参加

今回の上記女性フォーラム北海道大会は、9/18に札幌パークホテルで開催され、41都道県から約1,900人が一堂に会しましたが、本会からは3名が参加。記念講演会では北海道出身の俳優、大泉洋氏が所属するプロダクション「(株)クリエイティブオフィスキュー」代表取締役・プロデューサーの伊藤亜由美氏から「ストーリーあるプロデュース～北海道における人づくり・モノづくり・地域づくり～」をテーマに講演をいただきました。素晴らしいお話の内容に感動いたしました。翌日から女性部会の5名と合流し、総勢8名で、大雪山の旭岳方面を2日間かけて巡りました。今回のフォーラム・研修を企画、準備いただいた関係者の皆さんにこの場をお借りして感謝いたします。



## 管外研修会（札幌⇒旭岳）

… 少々、2泊3日のツアーに8名が参加

羽田空港から北海道へー快適な空の旅の始まり

今回の研修旅行では、羽田空港にて自動手荷物預け機を初めて利用。手荷物タグを自分で取り付ける体験は新鮮で、並ぶことなくスムーズに荷物を預けることができました。空港の利便性を実感。到着後、偶然にもNHK「家族に乾杯」の撮影で訪れていた笑福亭鶴瓶さんと遭遇。とても気さくな方で、握手や会話にも快く応じてくださり、旅の始まりに嬉しい思い出が加わりました。



### 北海道管外研修 初日レポート

北海道に到着後は添乗員・細井さんの運転で小樽へ向かいました。昼食は「ホテルノルド小樽」にてランチバイキングを堪能。

新鮮な野菜や海鮮料理をはじめ、和洋中の豊富なメニューが並び、旅の始まりを美味しく彩るひとときとなりました。食後は小樽の



堺町本通りを散策。人気の「北一硝子」では、三号館の吹き抜け構造の館内にて、時間を忘れるほどの魅力的な空間を体験できました。その後は札幌市内へ移動し、「大倉山ジャンプ競技場」へ。リフトに乗って展望台へ向かう約5分間は、まるで空中散歩のような感覚。標高307mの展望ラウンジからは、札幌市街や石狩平野など雄大な景色に感動の声が上がりました。続いて訪れた「北海道神宮」は、自然と歴史が調和した札幌を代表する神社。全国でも珍しい「フラヌイ大注連縄（おおしめなわ）」が印象的で、パワースポットとしての魅力を感じる場所でした。



夕食は「鮭 よこ田」にて。麻布十番の名店「天富良 よこ田」が展開する高級寿司・天ぷらの会席料理を堪能。8年連続ミシュラン一つ星を獲得した実績を誇る名店の味に、大満足。宿泊は「Tマークシティホテル札幌」。シングルルームでゆっくりと旅の疲れを癒し、翌日の研修に備える一日となりました。



### 北海道管外研修 2日目レポート (9月19日)

2日目は札幌市内の観光からスタート。車窓から、明治時代に建てられた赤レンガの外観が印象的な「北海道庁旧本庁舎」や、札幌のシンボル「札幌時計台」、そして市民憩いの場「大通公園」などを眺めながら、北海道の歴史と街並みに触れることができました。旧本庁舎の前庭には美しい花々が咲き誇り、記念写真に写る皆の笑顔が印象的でした。その後、上富良野町にある「後藤純男美術館」へ。まずは併設のレストラン「ふらのグリル」にて昼食をいただきました。地元産のふらの和牛を使用したハンバーグはジューシーで、サラダにかけられた自家製ドレッシングも好評でした。美術館では、日本画家・後藤純男氏による天然岩絵具を用いた色鮮やかな作品が並び、四季折々の情景を繊細に描いた作品に目を奪われました。首相官邸にも作品が展示されているとのこと、その芸術性の高さを改めて実感しました。午後は美瑛町の「青い池」を散策。1988年の十勝岳噴火後に偶然誕生した人工池で、太陽の光が水面に反射し、青空や白い雲、緑の木々が鏡のように映り込む幻想的な風景でした。続いて訪れたのは「旭岳ロープウェイ」。森林限界を超える国内唯一のロープウェイに乗り、姿見駅から徒歩で第一展望台へ。展望台付近では、背の低い高山植物が広がり、ロープウェイから見た森林とは異なる生態系を体感。噴煙を上げる旭岳の姿は、自然の力強さを感じさせる圧巻の景色でした。宿泊は、旭岳温泉「ラビスタ大雪山」。夕食は本館1階の「ダイニング ノンノ」にて、北海道産食材をふんだんに使った創作フランス料理のコースを堪能しました。食後は館内の温泉でゆったりと疲れを癒し、心身ともにリラックスした時間を過ごしました。そのまま休息に入るかと思いきや、夜鳴きそば(旭川醤油ラーメン)の案内を聞き、つい足を運んでしまい「もう食べられない」と言いながらも、優しい味わいに誘われて完食です。締め一杯として人気があるのも納得でした。



### 北海道管外研修 最終日レポート (9月20日)



最終日の朝は、北海道ならではの海鮮やチーズが豊富に並び朝食からスタート。「昨夜あんなに食べたのに…」と思いつつも、気づけばしっかりと胃に収まっている不思議。旅先での食事は、日常とは異なる特別な時間であり、その土地の味覚を味わうことが旅の醍醐味であることを改めて実感しました。午前中は美瑛町の観光へ。秋にもかかわらず色とりどりの花々が咲き誇り、丘の上から眺めるパッチワークの様な風景に、北海道らしい雄大な自然の美しさを感じることができました。続いて訪れたのは、昭和の時代にCMの舞台となった「ケンメリの木」や、煙草「セフンスター」のパッケージに採用された「セフンスターの木」。どちらも広大な丘陵地にぽつんと立つ姿が印象的で時代を超えて愛される風景として心に残るひとときとなりました。

昼食は、北海道最後の食事として「松尾ジンギスカン」へ。「北海道に来たらジンギスカン！」という定番の気持ちに応える老舗の味。これまでのジンギスカンのイメージとは異なり、松尾ジンギスカンのラム肉は肉厚でありながら柔らかく、ジューシーな味わい。ラム特有の臭みもなく、秘伝のタレとの相性も抜群で、締めの一食として人気の理由がよくわかる満足度の高い食事でした。

旅の締めくくりは千歳空港でのお土産探し。空港内には道内各地の物産が集まり、見て回るだけでも楽しいひととき。海産物を扱う店舗も多く、空港であることを忘れてしまうほどの充実ぶりで、“もうひとつの観光地”としての魅力を感じました。



## 研修を終えて

今回の北海道管外研修は、雄大な自然に囲まれた景色や地元食材の豊富さに触れる貴重な機会となりました。自然環境を守りながら地産地消を推進し、地域の活性化を図る姿勢を肌で感じることができました。北海道の魅力を実感した3日間は、学びと気づきに満ちた時間となり、今後の地域づくりや事業活動に活かしていきたいと感じました。

